| 学校番号 | 3018 |
|---|---|

令和２年度　　地理歴史　　科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理Ｂ（理科） | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編詳解地理Ｂ（二宮書店）、新詳高等地図（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 二訂版　最新地理図表　ＧＥＯ(ジオ)（第一学習社）、地理統計要覧 2019年版（二宮書店） | | | | | | |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理とは地球の理（ことわり）を学ぶ学問です。各時代の「地理の積み重ね」があって歴史が生まれています。よって、現代世界の諸地域の地理的事象を、歴史的背景を踏まえた上で考察することが肝要です。言い換えれば、これらを系統地理的・地誌的に考察することで、現代世界の地理的認識が養われるのです。地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を身につけていきましょう。

２　学習の到達目標

少しでも早い時期に全単元を終了し、センター試験対策の問題演習に入れるように配慮する。世界的な工業や流通についての認識を深める。また、人口問題、民族・宗教問題など地球的課題の原因・現状についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる人物としての責任を果たそうとする。 | 現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を考慮した上で公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表や白地図などにまとめたりしている。<br><br>地形図から地理的情報を読み取る地理的技能を習得している。 | 現代社会の地理的な事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に着けている。 |
| 評価方法 | 作業プリント・ワークブック等の提出<br>授業中の発問に対する反応<br>学習状況の観察 | 定期考査の結果<br>作業プリント・ワークブック等の提出<br>授業中の発問に対する回答の内容<br>学習状況の観察 | 定期考査の結果<br>作業プリント・ワークブック等の提出<br>学習状況の観察 | 定期考査の結果<br>作業プリント・ワークブック等の提出<br>授業内の演習問題の回答<br>学習状況の観察 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期中間 | 工業 | ・世界の工業の成り立ち・立地を取り上げ、 工業地域の形成と変容に関して考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。<br>・グローバル化する中での世界と日本の工業に関して世界的視野に留意して、それらの動向・形成要因について考察させる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題などに関する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。<br>b:世界の工業について、工業の立地や発達に影響をおよぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、国や地域、業種ごとの特徴や課題について読み取ったり、図表・白地図などにまとめたりしている。<br>d:世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題、及び日本の工業の特徴と課題を理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>作業プリント<br>ワークブック<br>学習状況の観察 |
| | 流通と消費 | ・世界の交通・情報通信を取り上げて、それぞれの特色と動向、形成要因に関して考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。<br>・世界の貿易・商業・観光を取り上げて、それぞれの特色と動向、形成要因に関して考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。<br>・それぞれの課題に関して世界的視野に留意して考察させる。 | ○ | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:世界の交通・情報通信・貿易・商業・観光について、交通機関の種類や特徴、通信の発達による世界の一体化や、貿易・商業・観光の近年の動向、それぞれの地域差に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。<br>b:交通機関や通信の発達によって一体化が進む世界が抱える課題や、貿易・商業・観光の地域差や近年の動向について、情報化や国際化進展の影響などをふまえて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:各種交通の運行状況やインターネットなど通信の普及に関する統計などの諸資料、商業やサービス業，観光業の動向に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、世界を結ぶ交通・通信網の分布や地域差、世界の貿易・商業・観光について読み取ったり、図表・白地図にまとめたりしている。<br>d:交通や通信の発達の状況や一体化の進行、地域差の拡大などを理解し、また貿易や商業・サービス業、観光業の特色や動向などを理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>作業プリント<br>ワークブック<br>学習状況の観察 |
| 前期期末 | 人口と村落・都市 | ・世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因に関して考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。<br>・世界の人口増加地域と減少地域の人口問題を比較しながら、日本の人口問題とも関連させて考察させる。<br>・様々な規模の集落があることを理解させ、村落の立地と形態，都市の発達と変容に関して考察させて、村落・都市に関する基礎的・基本的知識を習得させる。<br>・世界と日本の居住・都市問題の地域性や形成要因について世界的視野に留意して考察させる。<br>・地形図から村落・都市の形態や機能を読み取る、地理的技能を習得させる。 | ○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:発展途上国と先進国のそれぞれについて、人口問題に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。また村落と都市について、その立地条件や発達経緯、機能に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。<br>b:世界の人口問題について、発展途上国と先進国の違いをふまえて、それぞれの課題を多面的・多角的に考察し、また村落と都市について、その立地や構造を、地域の歴史や自然条件、社会条件などをふまえて多面的・多角的に比較・考察し、その過程や結果を適切に表現している。地形図から村落形態などの地理的情報を読み取る技能を習得している。<br>c:人口爆発や少子高齢化の人口動態に関する統計や事例などの諸資料から、有用な情報を適切に比較・選択し、人口問題の動向や国・地域ごとの差異について読み取ったり、図表・白地図にまとめたりしている。また村落や都市の形態や分布、人口規模、都市の地域構造などに関する統計や地図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、村落や都市の有する機能や発達経緯などについて読み取ったり、図表・白地図にまとめたりしている。<br>d:発展途上国、先進国、日本のそれぞれについて、人口問題の実態を理解し、また村落と都市の立地条件や、発達の背景、機能などを理解し、それらの知識を身につけている。 | 定期考査<br>作業プリント<br>ワークブック<br>学習状況の観察 |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期期末 | 生活文化と民族・宗教 | ・世界の衣食住を取り上げ、それらの分布と特色を理解させ、地域性との関連を考察させて、基礎的・基本的知識を習得させる。<br>・世界の言語と宗教の分布を理解させ、言語・宗教と社会との関連を考察させて、基礎的・基本的知識を習得させる。<br>・民族と国家との関連を理解させ、基礎的・基本的知識を習得させる。<br>・世界的にみた民族と国家との多様性や日本の領土問題について考察させ、国家群や国連の役割を理解させる。 | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:世界の衣食住について、地域的差異が生じていること、民族と宗教について、その分布や人々の生活との関係、民族・領土問題について、そのおもな原因と共生に向けた取り組み、などに対する関心を高め、それられを意欲的に追究しようとしている。<br>b:世界の衣食住について、さまざまな衣食住の地域的差異の背景、世界と日本の衣食住の変化と世界的な画一化の要因を、自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的・多角的に考察し、民族と宗教について、民族とは何かを言語とのかかわりから、宗教とは何かを生活とのかかわりから、多面的・多角的に考察し、民族・領土問題について、世界各地や日本の事例を取り上げ、問題が起こる背景や、これを解決して民族が共生するための方策を、多面的・多角的に考察し、それらの過程や結果を適切に表現している。<br>c:世界の衣食住の写真や分布図、巨大企業の海外進出のデータなどの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、生活文化の地域的差異や画一化の様子について読み取ったり、図表・白地図にまとめたりしている。民族と言語や、宗教と生活のかかわりに関する写真などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて読み取ったり、図表・白地図にまとめたりしている。世界各地でおこっている民族・宗教や領土に関する紛争のデータや事例などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・領土問題における原因の相違点などについて読み取ったり、図表・白地図にまとめたりしている。<br>d:衣食住の分布や地域的差異の特徴、画一化の進展状況、世界の言語分布や宗教の特徴、生活とのかかわり、世界各地の民族・宗教や領土に関する問題や多文化共生の取り組みなどを理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>作業プリント<br>ワークブック<br>学習状況の観察 |
| | 現代世界と日本 | これまでの学習を基にして、日本の自然，産業構造、人口構成と居住問題、伝統文化保全とグローバル化に関して、日本がかかえる地理的な課題を生徒自らに発見させ、その課題を多面的・多角的に考察、探究させる。<br>・自ら発見した課題を解決するための方法を身につけさせる。地理的技能を活かして資料を作成させ、課題解決のための提言を行わせることによって、日本がかかえる地理的課題の解決の方向性や将来の国の在り方について展望させる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:日本が抱える地理的な諸課題について、関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究しようとしている。<br>b:日本が抱える地理的な諸課題について、これまでの歴史的経緯などをふまえ、その解決の方向性や将来像などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c:現代世界の日本に関する統計などの諸資料を適切に収集し、それらの資料から有用な情報を適切に選択し、これらをもとに日本が抱える地理的な諸課題の原因や今後の展望などを読み取ったり、図表・白地図にまとめたりしている。<br>d:さまざまな規模の地理的な諸課題を抱える日本の現状と今後重要となる取り組みを理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>作業プリント<br>ワークブック<br>学習状況の観察 |

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。